

金 剛 石

八代市立第六中学校

学校だより

令和7年10月7日

文責：校長



校訓：「金剛石の光を発揮し、まわりを照らせ」

学校教育目標：「自分を磨き、仲間と繋がり、未来を考える生徒の育成 ～共に成長していく学校～」

2学期の六中生 ～運動面でも文化面でも頑張っています～

9月、10月と2学期も六中生が頑張っています。最近生徒がいただいていた賞を紹介합니다。

- 9月 6日 熊本県中学生新人選手権八代水俣芦北予選ソフトテニス八代大会（個人戦）
女子個人 優勝 諏佐純・早川叶夢
- 9月13日 第55回八代会長旗兼第17回全日本少年春季支部予選軟式野球大会
準優勝
- 10月 4日 令和7年度八代地区科学発明工夫展
＜科学研究の部＞
特選「物質が液体を吸収する量の研究」チーム吸水（1年生）
特選「金剛地区の土の性質・成分と作物の関係」土壌研究班（2・3年生）
＜発明工夫の部＞
特選「スッキリンボックス」小田愛琳
- 熊本県中学生新人選手権八代水俣芦北予選ソフトテニス八代大会（団体戦）
女子団体 優勝
- 八代地区中学生新人スポーツ大会卓球競技
男子団体 準優勝
女子個人（Bパート） 準優勝 井芹瞳来 第三位 永田 唯



部活動はどの部活動も毎日よく練習に励んでいます。その成果をしっかりと発揮してくれています。今後もさらに心技体を磨き、上位をめざして欲しいと思います。

また、科学発明工夫展は夏休み期間中に個人やグループで実験や研究を重ね、しっかりとまとめていました。八代管内の小中学校からたくさんの応募があり、科学研究の部の特選は7点、そのうち六中から2点選ばれました。（他5点は小学校でした）発明工夫の部でも身近な生活の中の不便さを解決するアイデアで、特選3点の中に選ばれました。（他2点は小学校）ともに中学校の特選は六中のみという結果でした。土壌研究班の研究は昭和40年代の六中の先輩方の研究（以前学校だよりで紹介）を基に、現在との比較も行っていました。生徒の頑張りと同時に、丁寧にご指導いただいた理科担当の甲斐先生にも感謝です。（作品は11月の文化祭で展示予定です）

社会科の研究授業 ～先生方も学び合っています～

9月30日（火）は2年生の社会科（地理的分野）で研究授業が行われました。八代管内の中学校の社会科の先生方が参集され、授業を参観された後、授業研究会を行いました。単元は日本の「中国・四国地方」。瀬戸内海には3つの連絡橋（瀬戸大橋、明石海峡大橋、しまなみ海道）が建設されていますが、これらの橋がこの地域に与えた影響について学習しました。研究授業ではこの学習を活かし、身近な八代地域のことにつなげ、学びを深めました。八代と天草の間に「シーライン」という橋の建設が予定されています。（まだまだ実現するかどうかは分かりませんが）このシーラインが建設されたとしたらどのような影響が考えられるかという内容でした。観光面・産業面・防災面等、様々な面からその影響を考えました。市役所や国土交通省が作成されている少々難解な資料を読み取りながらの学習でしたが、生徒たちは一生懸命に思考していました。

学習指導要領では学びの観点として「知識・技能」「思考・判断・表現力等」というものが示されています。（通知表にも観点別評価として載っています）これらの観点には「生きて働く（知識・技能）の習得」、「未知の状況にも対応できる（思考・判断・表現力等）の育成」という文言が前後にあります。生徒たちはこれからの未来を切り拓いていく力を身につけて欲しいと願っています。

なお、授業研究会では他の学校の先生方から「難しい内容にもしっかりと集中して取り組んでいて六中生は素晴らしい。」という感想をいただきました。嬉しい限りです。



11月の予定

- 4日（火）生徒集会
- 6日（木）Cブロック研（午前中授業）
- 13日（木）文化祭
- 17日（月）3年三者面談～12月1日（月）
教育相談～11月28日（金）
- 27日（木）後期中間考査～28日（金）
避難訓練、専門委員会

10月に入り、正門周辺の落ち葉が増えてきました。ある朝、用務の前田先生と落ち葉掃きをしていると、2年生の生徒が手伝ってくれました。翌日は3年生の生徒と一緒に落ち葉掃きをしてくれました。ボランティアの日でもない日に、ごく自然に学校のために動いてくれる生徒がいます。登校時の挨拶もさわやかで、気持ちのいい朝を迎えています。有り難いです。

